



秋のお彼岸



虫の音が耳に涼しい頃となりました。
少しずつ萩の細かな花が咲き始め、
見上げれば、栗もよく実ってきています。
今月末には美しい中秋の名月が拝めるでしょうか。
ひと夏越えて、皆様いかがお過ごしですか。

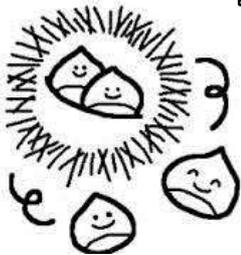
さて、彼岸花が田園風景に赤く揺れる今月は秋のお彼岸を迎えます。

秋分の日をお中日とした前後7日間、
今年は9月20日から26日までがお彼岸となります。

私達は普段なかなか仏様の教えにそった修行ができませんが、
せめてこのお彼岸の期間には、少し意識して生活し
7日間で積んだ自分の徳をもって亡き方への供養とします。



禅宗は「実践」の宗教だ、と言われるように
理想を語るだけでなく、日常の中で修行を実践することが
一番大切なこととなります。



さて、日常の中でできる修行には
布施・持戒・忍辱・精進・禅定・智慧の6つがあり、
今年の春彼岸には布施の中の「無財の七施」を
昨年の秋彼岸には持戒をご紹介しましたので、
今回は忍辱についてご紹介しましょう。

忍辱とは、簡単にいえば「耐え忍ぶこと」
便利快適で潤沢な昨今、こんな言葉は無縁なものとなってしまったようです。
耐え忍ぶ機会など思い当たらない方も多いことでしょう。
でも意外に子どもの世界では、まだ「忍辱」は健在かもしれません。

皆様は「花さき山」(斉藤隆介)という絵本をご存知ですか？

村の女の子(あや)は祭りのご馳走に使う山菜を採りに
山へ行き、道に迷ってしまいます。
気づくと足元には見たこともない美しい花がたくさん咲い
ています。そこであやは、山んばに花が咲く理由を聞きます。
「その一輪の花は、昨日お前が咲かせた花だ。
昨日、妹が祭りのための赤いべべをおっかあにせがんだ時、
お前は自分の分はいらぬから妹に買ってやってくれと
自分のことを辛抱した。その時その花が咲いた」



花さき山の一面の花は、人間が自分の事を辛抱して
人のことを思って涙をいっばいためた時 ひとつ咲く
と山んばは教えてくれます。

忍辱とは、我慢競争の話ではなく、
人にやさしく接する時、自分は少し引いてゆるる心であり
涙をためたり、つらい思いをすることで、人の痛みもわかり
人と一緒に泣いてしまう心です。

このお彼岸、花さき山にたくさんの花が咲いたらと願います。



大智寺だより

平成 27 年 長月
Vol.67

発行所
大智寺

岐阜市山県北野
668-1

電話：058-229-1532

《Mail》

hybsr245@ybb.ne.jp

《ホームページ》

大智寺

検索

<http://www.daichi-ji.com>

当紙は、大智寺本堂及び墓地
の水小屋にてご自由にお取り
いただけます。
又、当寺ホームページにて
過去のすべての紙面をご覧いた
だけます。ご利用ください。

8月号発行部数
200部

ご愛読
ありがとうございます

トンネル工事に伴う 水位・水質の観測報告

大智寺の裏山では、高速道路のトンネル工事が進行しています。
以前より、この工事に伴う水位・水質の変化が大智寺の大ヒノキにどのように影響するか心配されており、工事を請け負われた大成建設様が定期的に観測調査を実施してくださっております。



その観測報告のため、8月18日に国土交通省の方々がご来山されました。その結果、地下水位はトンネル近傍でのみ水位の低下が見られ一定の値に収束しており、現段階では降雨による変動のみ確認されること、そして低地部の地下水位は問題となるような変化が確認されていないこと、水質に関しては、コンクリート成分pHや掘削に伴う濁度ともに問題となるような変化が確認されていないこと、などが報告されました。今のところ、概ねトンネル工事による影響は安定しているようで、ひとまず安心しております。

観音堂でのお彼岸供養



毎年お彼岸には、里1号から5号までの各班の方々が毎日交代で観音堂にお参りをしてくださっています。



今年は9月23日の10時より副住職が観音堂にうかがい、皆様と一緒にお彼岸の法要を行う予定となっております。
その日お当番に当たられている里1号の方々、どうぞよろしくお願ひします。
観音堂はお寺から少し離れていますが、こうして地元の方々にお世話いただいております。ぜひ普段からお散歩コースなどに加えていただき、お参りいただければと思います。

～ 他家の法要に出る機会の少ない奥様のため 若い世代のために ～
(実際にお寺にご相談いただいたものから抜粋)



お寺のこと、仏壇のこと、法要のこと etc
わからないこと 質問帳 ⑱



「お葬式でいただいたお供え物やお花のこと」

親戚やご近所のお葬式にいくと、果物やお花などをいただいて帰ってきます。お葬式で亡くなられた方のためにお供えされていたものですが、珍しい果物や立派なお花だから、自宅のお仏壇にお供えしたらダメでしょうか、とのご質問をいただきました。

さて、皆様はどんなものをご自宅のお仏壇にお供えしますか？

初物は「今年初めての梨ですよ」とか「今年初めての栗ですよ」と報告しながらお供えしますし、趣味は「どこそこの珍しい佃煮をいただきましたよ」などとその品のお話をしながらお供えします。お花も「庭先にこんな花が咲きましたよ」とか「散歩コースに咲く野の花ですよ」とお話しします。死者の好きだったお菓子類や、お土産でいただいたおやつも、お話が盛り上がります。

同じように、お葬式でいただいてきた果物やお花も、

「今日はだれそれさんの家でお葬式がありました。これはそのお葬式のお下がりですよ」とお葬式でのお話をしながらお供えいただければと思います。

死者がそこにいらっしゃるがごとくお話をし、一緒に果物などを味わい、お花を愛でる「お仏壇だから」とかまえることなく、一家団欒の延長としてとらえていただければと思います。



日常を豊かに『発菩提心空拳章（通称：菩提和讃）』

お経のやさしい和訳（和讃）から
毎日の生活を 心豊かに

大智寺檀信徒日課經典
31ページより

⑰

「必ず出離を求むべし 人々賢き智慧あらば」

皆様は「自由」という言葉を聞き、どんなイメージを持ちますか？

「自由」とはもともと禅語であり、文字通り「自らに由（よ）る」ことを示しました。

この「自由」を深く弟子に伝えたのが、臨済宗の宗祖である臨済禅師です。

さて、ここでいう「自ら」とは「私」のことでしょうか。

臨済禅師による「一無位の真人（いちむいのしんにん）」のお話がヒントになりそうです。

臨済禅師はこう言った。

「お互いこの生身の肉体上に、一切の位を持たない一人の人間、すなわち真人がおるぞ。その真人は、いつでもどこでもお前の眼耳鼻舌身意を通して 出たり入ったりしておる。

そいつのことがわからん者は、それ！ ハッキリ見よ見よ！」

「無位」とは、肩書きも性別もない、年齢もなく、色も形もない、なにものにも限定されない
とらわれのない「真の人間性」を指します。また、「真人」は「仏心」ともいいます。

この存在を自分の中に認め、この存在を「自ら」とし生きていくことを「自由」といいます。

「必ず出離を求むべし」の「出離」とは、迷いから離れて出ること、
つまり「仏様の教えに触れて、自由になるべし」ということを指しています。

今更のひまわり

朝夕はすっかり涼しくなり、虫の音色から秋の到来がはっきり感じられるようになりました。空を見上げればうろこ雲やひつじ雲がどんどん姿を変えながら流れていきます。夏のお疲れが出やすい季節、皆様お変わりありませんか？

さて、立秋を迎えた頃から9月にかけて、長良川の河畔ではぶどう農園の露店が並び、いち早く秋を知らせてくれます。瑞々しいぶどうが食卓に上がると、今年も何とか暑さの峠を越えられた、とホッとひと息つけます。忙しさを暑さに別れを告げ、少し心にゆとりが戻る頃、決まってこの句を思い出します。

葡萄食ふ 一語一語の 如くにて

中村草田男

ひと粒口に入れて味わい、のどに送って、そしてまた次のひと粒を口に運ぶ丁寧な仕草が目につかぶと同時に、ひと言ひと言の言葉を大切に味わい、吸収する様が伝わります。この秋は、自分の発する言葉一語一語を、ぶどうを食べるがごとく、幼い命がお腹の中で聞いているように思えてなりません。口は災いのもとと言われますが、気をつけても気をつけても、気が緩むと言葉も緩みます。かの良寛和尚も「ことばははしみじみ使うべし」と言われたそうですが、ひと言ひと言が自分の全人格の発露であることを深く認識しつつこの秋も穏やかに過ごせたらと願います。

～ シリーズ 北野のおばあちゃんの味 ～

♪ 北野で丁寧に野菜を育てるおばあちゃんの味 おすそわけ ♪

秋のはじめに ほくほくお豆ごはん

- ① 乾燥大豆の皮が少しはじけてやぶれるくらい、フライパンでよく炒る。
- ② 普段通りの水加減でお米を炊く。その時炒った大豆も一緒に入れる。
- ③ 炊きあがったら少し蒸らして、出来上がり。

フライパンで炒ってあるので、香ばしいご飯になるよ。炊くときに塩やら酒を入れる人もおるけど、私は塩昆布を添えたり、作り置きしてあるひじきの煮物を混ぜ込んだりするんやよ。風も涼しくなって秋になると、あったかいごはんがおいしくなるねえ。冬は、同じ方法で黒豆ごはんができるんやけど、それはそれで本当においしいんやて。





～ うちの宗教って、どんなんやっけ? ～

第二十八回：食事五観文 ⑤



大智寺の宗門を、やさしく簡単におわかりいただければ嬉しい、そんなお話

私達仏教徒は、食事をする際にどんなことを思い「いただきます」と手を合わせるのか、この食事五観文にやさしく説かれています。ご家庭の食卓を囲む時、ほんの少し思い出していただければと思います。

「五つには ^{どうぎょう}道業を成^{じょう}ぜんがために ^{まさ}心^こに此^この食^{じき}を受^うくべし」

「禅林僧宝伝」という昔の禅の書物に、「君子は財を愛するも、これを取るに道をもってす」という言葉が出てきます。誰しも生活のため職業を通して利潤を求めますが、徳の高い人にはその時「道」というものがあるといった意味になります。

自分の小さな我欲・我利だけを求めるあまり、「道」に外れたことをする人も中にはいます。人に迷惑をかけたり、ひどい場合は法を犯し、犯罪に手を染めてしまいます。

自分の職業を通して、また自分に与えられた役割を通して私達は自分の弱い心と日々対面し、葛藤しています。

そんな中で、少しでも「道」にかなった徳を積み自己を磨かせてもらう、それを「道業」といいます。

禅修行者にとっては、修行そのものが「道業」となります。



皆それぞれが食事を前にして、自分は「道」にかなった徳を積んでいるか振り返ります。

♪ 月に一度はお寺まいり ♪

初心者 大歓迎
東日本大震災物故者追善供養
毎月 第四日曜日
定例写経会

今月の日程

9月27日(日) 一回500円
(朝8時～9時) (内300円は義援金)
要申込

8月写経会 備忘録

8月も末近くなり、外の涼しい風を呼び込みながらの写経会。今回は般若心経の中の「以無所得故 菩提薩埵依般若波羅蜜多故 心無罣礙無罣礙故」の部分のお話でした。この世で生きる私達がいかに「罣礙」とらわれているか、そしてそこから解放される様子を、わかりやすい落語「縁起かつぎ」を通してお伝えしました。今回は黒豆の入ったわらび餅とお抹茶でホッと一服しました。

ご自宅で お寺で 市営斎場で 営む
家族葬

ご家族・ご親族のみの家族葬をお考えの場合、ご自宅や市営斎場を会場に営むことができます。

また大智寺を会場にお使い頂くこともできますが、その場合、指定の葬儀社をお寺でご案内致します。必ず前もってご相談ください。

家族葬をご検討される場合は、葬儀社のこと、葬儀会場のことなど含めてまずはお寺までご相談ください。

完全個別永代供養墓

1区画：38万円～
(墓石代金含む)

「永代供養墓」とは、将来お墓を守りの方がいなくても、お寺がご供養させて頂くお墓です。

大智寺の永代供養墓は、ご夫婦・ご家族一緒にひとつのお墓にお眠りいただけるタイプです。永代にわたり、他の方のお骨と混じらないことから「完全個別永代供養墓」といいます。詳しくは、ご見学を含めてご説明しますので、ご予約の上 ご来山ください。